

■ 目標値未達成の要因について

〔1〕

30年度の 成果測定指標	単位	30年度の目標値	30年度の実績値
管理費比率（退職手当を除く） （管理費支出/総支出額）	%	16.6	17.2

未達成の要因と分析	<p>○H30目標：16.6%は、管理費支出108,700千円（H29決算比+3,422千円）、総支出額654,700千円（H29決算比+41,520千円）をもとに算定。</p> <p>○H30実績は、管理費支出107,409千円（H30目標比▲1,291千円、H29決算比+2,131千円）、総支出額624,922千円（H30目標比▲29,778千円、H29決算比+11,742千円）により17.2%となった。</p> <p>○H30目標の管理費支出については、主に管理部門の人件費について、事務所移転・閉鎖準備等への対応による増額を見込んでいたが、H30実績では、業務の効率化等により、想定よりも増加額の抑制を図ることができた。</p> <p>○しかし、総支出額が当初目標より約30,000千円減少したため、管理費比率は未達成となった。</p> <p><総支出額の主な減少要因（H30目標比）> ※総支出額＝経常費用－（減価償却費＋退職手当） ・常勤職員1名の休職による無給期間発生 ・常勤職員新規採用3名予定が2名（4月から1名、10月から1名）になり1名減 ・常勤職員の超過勤務削減 上記の主な要因により、下記費用科目が当初予算を下回った。 給与（▲10,418千円）、諸手当（▲13,352千円）、法定保険料（▲2,236千円）</p>
今後の改善方策	<p>○引き続き、事務費関連の支出節約を行うとともに、時間外手当等の人件費支出も効率よく抑制していく。</p> <p>○平成30年度で旧施設は閉鎖され、新たな施設では施設維持費・光熱水費の効率化を図り、当初予算の5%削減を目標にし、安全で健全な運営を行なう。</p>